

研修医の学びの場 静岡県屋根瓦塾

静岡版のテレビで報道されたので見た方もおられるかもしれませんが、連休の最終日の2月12日に静岡県医師会主催の研修医の勉強会に行ってきました。大病院の救急科、婦人科、麻酔科、神経科などのドクターがインストラクターとして研修医たちにプロの技を教える場を屋根瓦塾と名付けており、今回は中部地区のドクターがその担当になり集まった30人ほどの研修医の面倒を見てくれました。

忙しい仕事の合間を縫ってのインストラクターの先生方には本当に頭が下がる思いで一杯です。しかもどの科の先生方も優しく丁寧に(時に厳しく)教えてくれる姿に、時間の過ぎるのも忘れて、自らも研修医時代に戻った気持ちで講習を聞いていました。教育用の人形の進歩にも感心させられましたが、その人形を使った気管内挿管実習も一緒にトライさせてもらいました。昔の腕は思ったほど鈍っていませんでしたが先生方に教えてもらい褒めてもらうことの楽しさを味わうことは新鮮な経験でした。

研修医の先生方にとっても貴重なひと時であったに違いなく、医師不足が叫ばれる静岡県に是非定着して働いてほしいと思った一日でした。

